禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B58

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
２級 とび 学科試験問題
（とび作業）

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1)　係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2)　答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3)　係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4)　試験開始の合図で始めてください。
   (5)　解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ.　A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ.　B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ.　答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ.　答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6)　電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7)　携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8)　試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9)　試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10)　試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11)　試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法)］

1　労働安全衛生法関係法令によれば、建設工事に使用する高さ8m以上の登り桟橋には、7m以内ごとに踊場を設けなければならない。

2　わく組足場の壁つなぎの間隔は、一般に、単管足場の場合よりも狭い。

3　建設用リフトの荷台と荷の取入れ口のすき間は、10cmにするとよい。

4　ディープウェル工法は、止水壁の内側の地下水を排水し、水位を下げて掘削作業をしやすくする工法である。

5　アンダーピニングは、既存の構造物が沈んだり倒れたりしないように補強等を行う工事である。

6　軽量鉄骨造建物の建方をする場合、ゆがみ直しをする必要はない。

7　建築物のひき方工事は、ひき方準備、腰組、あげ方、ひき方及び定着の順に行う。

8　解体などに使用する圧砕機は、垂直たたきには適していない。

9　労働安全衛生法関係法令によれば、高さが5m以上のコンクリート造の工作物の解体作業は、コンクリート造の工作物の解体等作業主任者が直接指揮しなければならないと規定されている。

10　もっこやシャックルは、クレーン等で荷をつる場合に、玉掛け用具としても使用される。

11　労働安全衛生法関係法令によれば、クレーン等の玉掛け用具として、繊維ベルトを使用してはならない。

12　一般に、単管足場用鋼管のクランプ締めに使用するラチェットスパナの呼び寸法(大きさ)は、19mmである。

13　木材を電動丸のこで切断する場合、安全カバーを固定して作業を行ってはならない。

14　フォークリフトは、デリックの一種である。

15　索道とは、ワイヤロープを空中に張り渡し、これに運搬機を取り付けて荷を運搬するものをいう。

16　施工図面における略記号「GL」は、一般に、仕上げ床面を表す。

［A群（真偽法）］

17　荷を横引きする場合、荷が動き出すまでの静止の摩擦力は、荷が動き出した後の運動の摩擦力よりも小さい。

18　型わく締付け用金物のフォームタイは、コンクリートの中に打ち込んで使用するものである。

19　打設直後のコンクリートは、アルカリ性である。

20　養生朝顔の突出し長さは、足場の外側からの水平距離で1.8mとする。

21　鉄骨造で柱とはりを接合する継手には、ガセットプレートタイプ、ブラケットタイプなどがある。

22　建築基準法関係法令によれば、間柱は、建築物の主要構造部に含まれる。

23　現場事務所に使用される仮設事務所の構造等には、建築基準法上の制限はない。

24　つり足場の上で作業を行う場合は、脚立やはしご等を使用してもよい。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、脚立は、脚と水平面との角度を80°以下としなければならないと規定されている。

［B群（多肢択一法）］

1　くさび緊結式足場の組立てに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　脚部には、ジャッキ型ベース金具を使用して、くぎなどで固定する。

ロ　建地の間隔は、桁行方向1.85m以下、はり間方向1.5m以下とする。

ハ　地上第一の布の高さは、2.15m以下とする。

ニ　筋かいは、概ね45°になるように取り付ける。

2　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、手掘りにより堅い粘土からなる地山を掘削する場合において、掘削面の高さが5m以上のとき、掘削面のこう配は、(　　)°以下とすることと規定されている。

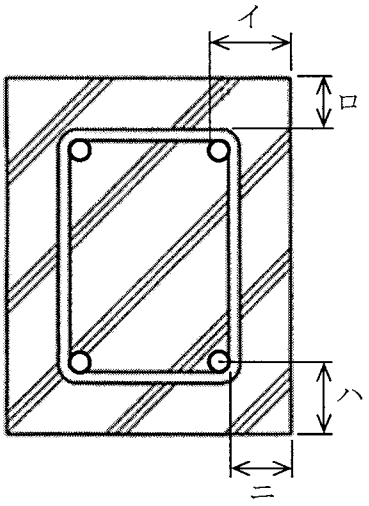
イ　90

ロ　75

ハ　60

ニ　30

3　下図において、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを示す寸法表示として、適切なものはどれか。



4　野地(屋根下地)作業における安全上の注意点に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　霜が降りているときは、霜がとけて乾くまで作業は行わない。

ロ　材料や工具が落下しないようにする。

ハ　資材を仮置きするときは、1か所にまとめて置いておく。

ニ　屋根への昇降に使用するはしごは、転位防止の措置をとる。

5　荷の運搬作業に関する記述として、最も適切なものはどれか。

イ　つり荷の重量目測は、原則として、少なめに目測する。

ロ　つり上げた荷を水平移動させる場合は、原則として、床上1mの高さを保つ。

ハ　つり荷の下に作業者等が立ち入ってはならない。

ニ　荷をつったままでも、運転位置を離れてもよい。

［B群（多肢択一法）］

6　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

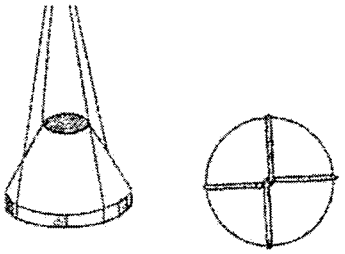
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)関係法令によれば、建築物の解体工事で分別解体等実施義務の対象となる建設工事の規模に関する基準の一つとして、解体する建築物の床面積の合計が(　　)m^2であるものと規定されている。

イ　20
ロ　80
ハ　200
ニ　500

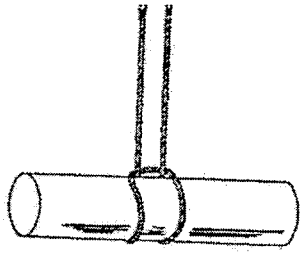
7　コンクリート工作物の解体方法の一つである圧砕工法に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　粉じんの発生が比較的多いため、散水設備が必要である。
ロ　騒音や振動は、大型ブレーカー工法に比べて大きい。
ハ　圧砕機を地上に据えての作業では、高さ20m程度の工作物の解体が可能である。
ニ　圧砕機を地上に据える場合、地盤の接地耐力を十分に検討する必要がある。

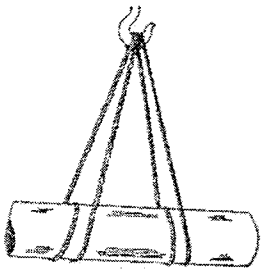
8　下図の玉掛け方法のうち、目通しつりと呼ばれるものはどれか。



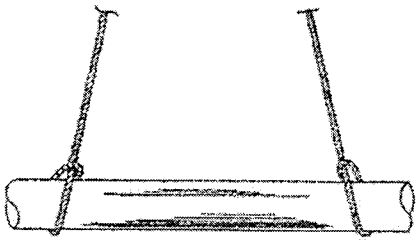
イ



ロ



ハ



ニ

9　玉掛けの方法に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　重心の位置が片寄っているものは、水平につり上げるように玉掛けする。
ロ　フックは、つり荷の重心の真上に誘導する。
ハ　重心の位置は、できるだけ高くする。
ニ　地切り後、一旦停止する。

［B群（多肢択一法）］

10　研削といしに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　研削といしを取り替えた時は、試運転の必要はない。

ロ　研削といしを使用する時は、その最高使用周速度を超えてはならない。

ハ　研削といしは、側面を使用することを目的とするものでなければ、側面を使用して作業してはならない。

ニ　研削といしには、原則として、危険防止のための安全カバーを取り付けなければならない。

11　次のうち、移動式クレーンでないものはどれか。

イ　タワークレーン

ロ　トラッククレーン

ハ　ホイールクレーン

ニ　クローラークレーン

12　次の図面のうち、建物の床高や軒高等の高さの関係と、外壁や開口部との関係を詳細に示すものはどれか。

イ　平面図

ロ　矩計図（かなばかりず）

ハ　配置図

ニ　立面図

13　ロープと滑車を使用した荷のつり上げに関する記述として、適切なものはどれか。ただし、ロープや滑車などの質量、摩擦はないものとする。

イ　定滑車を使用した場合、ロープを引っ張る力は、荷の重さの1／2でよい。

ロ　動滑車を使用した場合、荷のつり上げ速さは、ロープを引っ張る速さと同じである。

ハ　動滑車を使用した場合、ロープを引っ張る力は、荷の重さと同じである。

ニ　定滑車を使用した場合、荷のつり上げ速さは、ロープを引っ張る速さと同じである。

14　建築工事用シートに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　帆布製シートと網地製シート(メッシュシート)がある。

ロ　建築工事用シートは、縫い目のとびや縫い外れがなく、縫い代がほぼ均一である。

ハ　建築工事用シート各辺の縁部は、はとめ金具が容易に外れない構造である。

ニ　網地製シート(メッシュシート)の網目の寸法は、50mmである。

［B群（多肢択一法）］

15　単管ブラケット一側足場の組立てにおいて、一般に、使用しない足場用資材はどれか。

イ　直交型クランプ
ロ　3連クランプ
ハ　固定型ベース金具
ニ　持送りわく

16　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、重量物をつり上げる玉掛け用ワイヤロープの安全係数は、(　　)以上としなければならないと規定されている。

イ　3
ロ　4
ハ　5
ニ　6

17　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、重量物をつり上げる玉掛け用フックの安全係数は、(　　)以上としなければならないと規定されている。

イ　5
ロ　6
ハ　7
ニ　8

18　仮囲いの構造等に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　工事期間に見合った耐力を有すること。
ロ　強風等を受けても倒れない構造であること。
ハ　道路に接する出入口や通用口の扉は、外開きとすること。
ニ　仮囲いの下端は、隙間がないようにすること。

19　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、架設通路の勾配は、原則として、(　　)°以下とすることと規定されている。

イ　30
ロ　40
ハ　45
ニ　50

［B群（多肢択一法）］

20　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

建築物の構造において、SRC造とは、(　　)のことである。

イ　鉄骨造

ロ　鉄筋コンクリート造

ハ　鉄骨鉄筋コンクリート造

ニ　木造

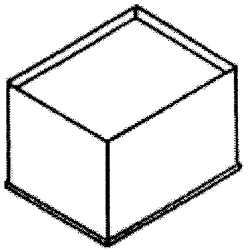
21　下図の屋根形状の名称として、適切なものはどれか。

イ　切妻屋根

ロ　陸(ろく)屋根

ハ　方形屋根

ニ　入母屋屋根



22　建築基準法関係法令における不燃材料に含まれないものはどれか。

イ　コンクリート

ロ　れんが

ハ　厚さ9.5mmのせっこうボード

ニ　瓦(かわら)

23　建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)関係法令における特定建設資材に含まれないものはどれか。

イ　木材

ロ　段ボール

ハ　コンクリート及び鉄から成る建設資材

ニ　アスファルト・コンクリート

24　安全靴の使用に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　事業者は、労働者に作業の状況に応じて、安全靴等の適切な履(はき)物を定め、それを使用させなければならない。

ロ　甲被又は表底が著しく損傷しても、作業に支障がなければそのまま使用してもよい。

ハ　労働者は、事業者の定めた履物の使用を命じられたときは、それを使用しなければならない。

ニ　安全靴を使用する目的は、くぎ等の踏み抜き防止や、落下した材料から防護することである。

［B群（多肢択一法）］

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、高所作業車の運転の業務として技能講習の修了が必要と定められているのは、作業床の高さが(　　)m以上のものである。

イ　3

ロ　6

ハ　10

ニ　15